

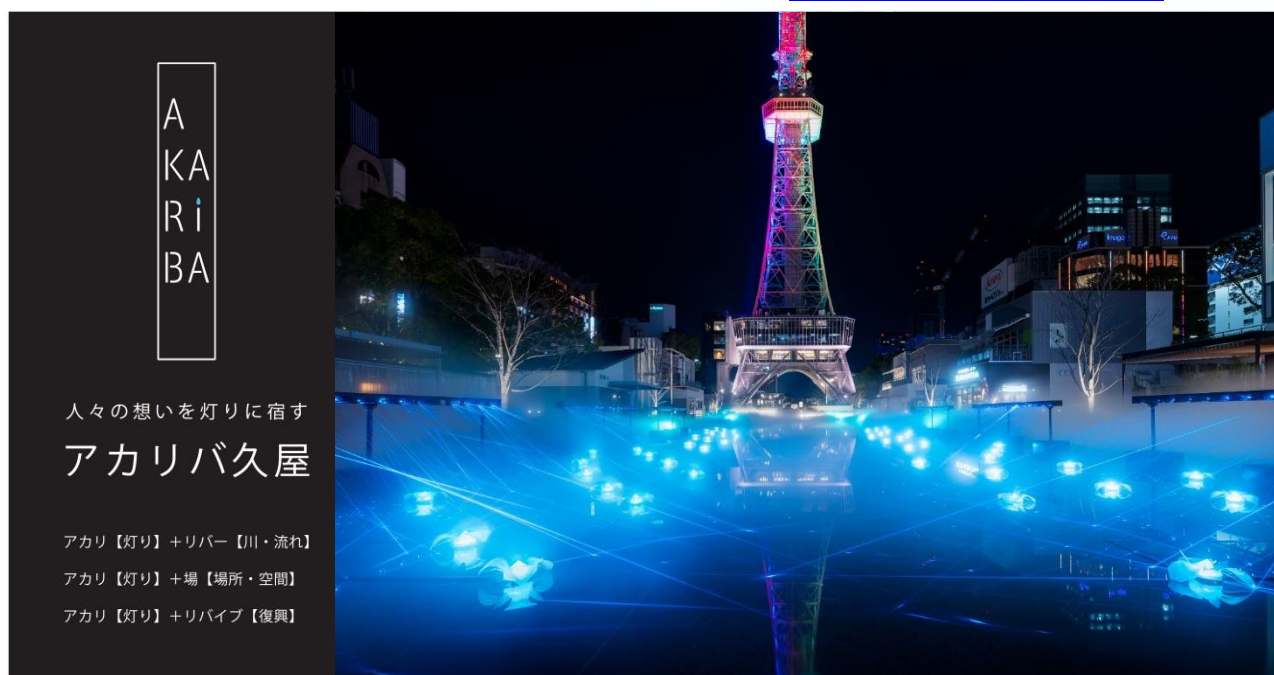
報道関係者各位

株式会社 博展
2020 年 12 月 4 日

**博展が企画・制作を手掛けた
幻想ライトアップ『～人々の想いを光に宿す～アカリバ久屋』、
名古屋市 Hisaya-odori Park にて公開中**

～水盤を光で彩るインスタレーション、12 月 31 日まで期間限定開催～

企業・団体の体験型マーケティング活動を支援する株式会社 博展（本社：東京都中央区、代表取締役社長：田口徳久、以下「当社」）は、2020 年 12 月 31 日まで Hisaya-odori Park（愛知県名古屋市）ミズベヒロバにて開催中の、水盤を光で彩るインスタレーション『～人々の想いを光に宿す～ アカリバ久屋』の企画・制作を手掛けました。 特設サイト：<https://rhp.nagoya/akariba>



人々の想いを灯りに宿す

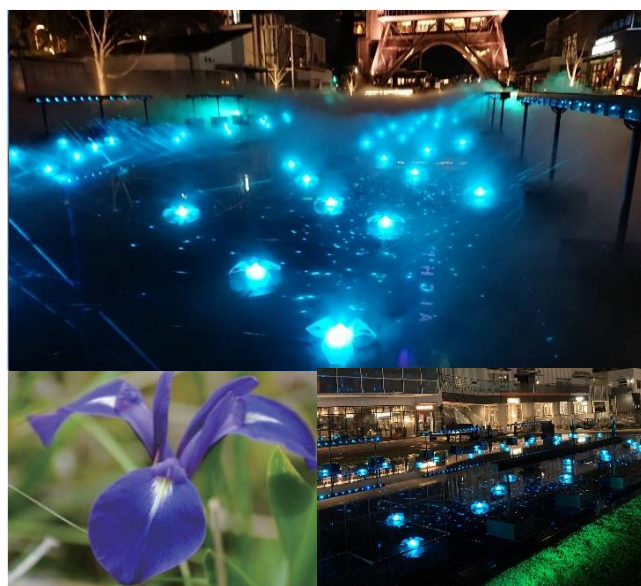
アカリバ久屋

アカリ【灯り】+リバー【川・流れ】

アカリ【灯り】+場【場所・空間】

アカリ【灯り】+リバイブ【復興】

同企画は、2020 年 9 月に開業したばかりの新施設「Hisaya-odori Park（ヒサヤオオドリパーク）」内「ミズベヒロバ」の水盤南端部を使って行われるインスタレーションで、日没～23 時までの間、青色のレーザーと県花であるカキツバタをモチーフとしたライトが水盤を幻想的に彩ります。



メッセージ

2019年12月末に現れたコロナによって2020年は、
歴史的な激動の年になりました。

この「アカリバ久屋はそんな1年間だったからこそ」
支え合えた仲間や大切な人への感謝の気持ちを振り返り

来年に向けてポジティブな想いが
生まれる場所になってほしいと考えました。

水盤に浮かぶ花のモチーフは愛知県の県花であり、
「幸せは必ずくる」という花言葉を持つカキツバタ。

みんなの来年へのポジティブな会話や想いが
カキツバタの光に宿り、名古屋を明るく照らしますように。

カキツバタは、「幸せは必ず来る」という花言葉を持ちます。2020年、コロナウイルスにより多くの楽しみや喜びの場が失われたことから、1年の終わりに、支え合えた仲間や大切な人への感謝の気持ちを振り返り、来年に向けて少しでもポジティブな気持ちを持ってほしい、という思いをこの場所にこめました。

「#アカリバ久屋」とハッシュタグをつけInstagramに投稿いただくと、アカリバ久屋の特設サイトにも、投稿がアップされます。2021年に向けたポジティブなメッセージを添えて、ぜひ投稿してください。 特設サイト：<https://rhp.nagoya/akariba>

※投稿の反映には半日程度の時間がかかります。また、すべての投稿が反映される訳ではありません。

■『～人々の想いを光に宿す～ アカリバ久屋』企画概要

実施期間	2020年12月1日（火）～12月31日 ※1月10日頃まで延期の可能性もあり。
実施場所	Hisaya-odori Park ZONE4 <ミズベヒロバ> 愛知県名古屋市中区栄3丁目5-12 先
主催	Hisaya-odori Park
監修	CreativeOut 株式会社
企画・制作	株式会社 博展
協力	ZIP-FM
お問い合わせ先	Hisaya-odori Park DESIGN CENTER（担当：藤田・大倉） TEL 052-253-7007 MAIL info@rhp.nagoya

■当社プロジェクトメンバー

クリエイティブディレクション	桑名 功
アカウントディレクション	河田 友輔
プランニング	矢島 大、中里 洋介
空間デザイン	高橋 匠
施工管理	熊崎 耕平
制作	樋口 拓史

■クリエイティブパートナー

照明デザイン	有限会社アスポ、雨宮史郎（椋山女学園大学 教授）
照明演出	Tokyo Lighting Design LLC
サイト制作	株式会社キャンバス

▼ 株式会社 博展（<https://www.hakuten.co.jp/>）について

「Communication Design®」の提供を通じて、人と人が出会う“場”と、そこで生みだされる感動や経験の“体験”をより価値あるものにするために、企業のマーケティング活動に感動や経験という体験価値を提供するパートナーとして、「Experience Marketing」を事業領域とした、コンタクトポイントにおけるコミュニケーション開発及び統合型マーケティングソリューションの提供を行っております。

以 上

▼ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社 博展 経営企画部 村松（むらまつ） E-Mail： ir@hakuten.co.jp
--